

秋田県立美術館  
移転開館10周年  
記念特別展



藤田嗣治《眠れる女》1931年  
公益財団法人平野政吉美術財団蔵

Tsuguharu Foujita  
Shinichi Saito

藤田嗣治  
斎藤真一

# 旅する 画家

斎藤真一《ムールルージュ》1959年  
公益財団法人出羽桜美術館蔵

会場 秋田県立美術館3Fギャラリー

開館日時 2023年  
9月16日[土]~11月12日[日]

10:00~18:00(入館は17:30まで)

会期中無休

【観覧料】

一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)  
中学生以下無料

※高・大学生料金では要学生証提示

※( )内は前売、20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(マイロID可)を持参の方と付添1名まで半額(美術館で当日券購入の場合のみ)

【前売券販売期間】

2023年8月5日(土)~9月15日(金)

【前売券販売所】

カフェ光風(秋田県立美術館2F)、ローソンチケット(Lコード:21429)、  
チケットぴあ(Pコード:686-594)、caoca広場サービスカウンター、  
県庁地下売店

主催:旅する画家展実行委員会

(秋田県、ABS秋田放送、公益財団法人平野政吉美術財団)

特別協力:ギャラリー朱雀院、公益財団法人出羽桜美術館、斎藤裕重

後援:秋田市、秋田市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、

読売新聞秋田支局、河北新報社、秋田経済新聞、NHK秋田放送局、AKT秋田テレビ、

AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ

平野政吉コレクション  
秋田県立美術館  
AKITA MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2 TEL018-853-8686 FAX018-836-0877







藤田嗣治《カーナバルの後》1932年  
公益財団法人平野政吉美術財団蔵



藤田嗣治《吾が画室》1936年  
公益財団法人平野政吉美術財団蔵



藤田嗣治《北平の力士》1935年  
公益財団法人平野政吉美術財団蔵

秋田県立美術館  
移転開館10周年  
記念特別展

Tsuguharu Foujita  
Shinichi Saito

藤田嗣治  
斎藤真一

# 旅する 画家

「私は死ぬまで旅行者でおわろう」と自ら語るように、藤田嗣治は生涯にわたり、世界各地を旅した画家です。1930年代、藤田はパリを離れ、中南米、北米、日本各地や中国を旅します。各国の文化や風土に触れ、藤田は新たなモチーフや構図などに次々と挑戦していききました。

1959年、ヨーロッパに留学した斎藤真一は、フランスで憧れていた藤田に出会います。そこで斎藤は、藤田から秋田や東北へ行くことを勧められます。帰国した斎藤は、藤田の言葉どおり東北・津軽地方を旅しました。そこで盲目の女性旅芸人・瞽女ごごの存在を知り、強く惹かれるようになったのです。その後、斎藤は越後を訪ね、旅に明け暮れる越後瞽女の足跡を辿りながら、瞽女たちの純粹な心、生き様を描き続けました。

このたびの展覧会では、藤田と斎藤、その創作の源泉となった「旅」に注目し、それぞれの画業における「旅」の意味に迫ります。



斎藤真一《陽の雪野》1977年  
公益財団法人出羽桜美術館蔵



斎藤真一《初旅》1975年  
公益財団法人出羽桜美術館蔵



斎藤真一《街角》(絶筆)1994年  
公益財団法人出羽桜美術館蔵

## ■ 関連イベント

※参加には観覧券または年間パスポートが必要です。

### ● 講演会「藤田さんへの想い 斎藤真一を語る」

講師：斎藤裕重氏

日時：9月16日(土) 13:30~14:30

会場：1Fレクチャールーム

定員：30名

※お電話またはFAXで美術館にお申込み下さい。

### ● 学芸員によるギャラリートーク

日時：9月23日(土)、10月21日(土) / 各日ともに14:00~14:30

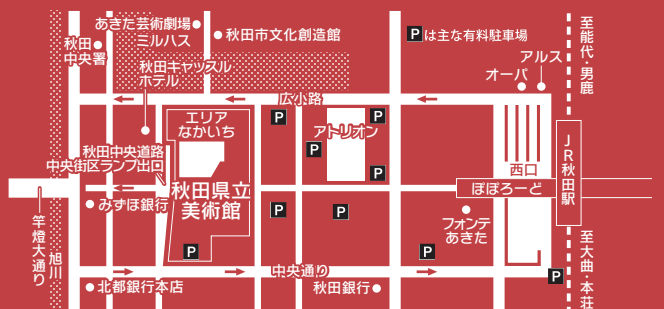
会場：3Fギャラリー

※お申込み不要です。

## ■ 美術館までのアクセス

※美術館専用駐車場はございません。

- ・JR秋田駅西口からタクシーで2分、徒歩10分
- ・秋田自動車道・秋田中央ICより10分(中央街区ランプ出口)



平野政吉コレクション

秋田県立美術館

AKITA MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目4-2 TEL018-853-8686 FAX018-836-0877 <https://www.akita-museum-of-art.jp>

藤田嗣治作品は全て © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 E5301